



# 寿楽荘だより

発行：社会福祉法人 双葉会  
介護老人福祉施設 寿楽荘  
編集：広報委員会

〒198-0213 東京都西多摩郡奥多摩町海澤497  
TEL 0428-83-2338 FAX 0428-83-3705  
URL <http://web.futabakai.or.jp>  
e-mail [jiyurakusou@futabakai.or.jp](mailto:jiyurakusou@futabakai.or.jp)

第45号



決 事  
算 業  
報 報  
告 告  
抜 粹

### 三施の功德

双葉会常務理事 佐藤泰信

震災復興の遅れ、原発問題、経済の破綻、国民を忘れた党利党略の政治、今の日本は課題が多くあふれ何から整理していけばいいのか見当もつかない状況です(本来は道筋をつけるのが政治家の使命なのですが)。

この状況に必要なのは、三施の功德の教えのことが頭に浮かびました。三施の功德とは、法施財施、無畏施のことを言います。法施とは仏の教え(お釈迦様や宗派の祖師の教え)を施すことです。財施とは金品などを施す(お寺へのお布施もその一つ)ことです。無畏施とは心にある恐れや不安を取り除くことを施すことです。(社会福祉の仕事はこの「三施」を如何に実行するかということに尽きるでしょう。)

特に無畏施は、人は心に必ず不安を抱えているものですが、心穏やかにして聴くことで施し。手当する「診る」施し、隅々までよく調べる「診る」施し、状況を把握するため「観る」施し等々今困難状況にある国民に必要な教えです。又是非政治・行政に携わる多くの人に考えていただきたい教えでもあります。

法人の役員一同「三施の功德」を心の糧にして今後も社会福祉に邁進していきたいと思えます。

私事ですが、去年の五月末に慢性腎不全で緊急入院し、その後人工透析を始めて一年が経過しました。いつも透析中に思うのは、看診観によって自分の命が保たれているありがたさです。



### 寿楽荘 事業報告抜粋

利用者やご家族の方々の意見を「傾聴」し、人間関係を強化することを年度の基本方針とし事業の展開を図った年度でした。これらは、第三者評価の利用者、ご家族の意見、施設内の懇談会の意見等を業務に反映させるよう、諸会議、各委員会の中において周知を図り、サービスの向上に努めているところであり、これからも継続して大切な意見を業務に反映させる形を構築させて行きたいと考えています。

稼働率については、目標本体施設98%、ショートステイ100%に対し、本体施設93.6%、ショートステイ151.4%の結果となりました。本体施設4.4%減については、入院者数の増であり、大きな変化はありませんでした。ショートステイについては、町内高齢化による利用率の増大であり、この約51%増の方々が、潜在的な入所待機者であると思われま



収支計算書		
(自)平成23年4月1日(至)平成24年3月31日		
勘定科目		合計(円)
経常活動	経常活動収入計(1)	815,234,214
	経常活動支出計(2)	791,166,886
	経常活動資金収支差額[2]=[1]-[2]	24,067,328
施設整備	施設整備等収入計(4)	0
	施設整備等支出計(5)	1,957,013
	施設整備等資金収支差額(5)=(4)-(5)	-1,957,013
財務活動	財務活動収入計(7)	26,561,531
	財務活動支出計(8)	47,136,876
	財務活動資金収支差額[8]=[7]-[8]	-20,575,345
予備費(10)		0
当期資金収支差額合計[10]=[2]+[5]+[8]-[10]		1,534,970
前期末支払資金残高(12)		454,699,926
当期末支払資金残高(11)+(12)		456,234,896

貸借対照表			
平成24年3月31日			
資産の部		負債の部	
決算額(円単位)		決算額(円単位)	
流動資産	507,620,636	流動負債	51,385,740
固定資産	1,853,418,051	固定負債	323,415,726
基本財産	1,765,685,426		
その他の固定資産	87,732,625	負債の部合計	374,801,466
		純資産の部	
		基本金	62,081,323
		国庫補助金等特別積立金	970,601,393
		その他の積立金	0
		次期繰越活動収支差額	953,554,505
		純資産の部合計	1,986,237,221
資産の部合計	2,361,038,687	負債及び純資産の部合計	2,361,038,687





グリーンウッド奥多摩・施設内研修へ内海S.T(言語聴覚士)講師派遣の様子。

研修テーマ

**摂食・嚥下について**  
安全な食事介助のために



**救命講習(心肺蘇生訓練)**  
奥多摩消防署員の指導のもと、心肺蘇生・AED・バグバルブマスク(人工呼吸器具)の取扱、また異物の吐き出し方等を学びました。  
新しく事務所前に設置したAEDもあり各職員が真剣に取り組んでいました。



日常生活・行事活動状況



4月18日 『花見ハイク』



『マス釣り』が小春日和の中、寿楽荘恒例行事である。五月十六日、利用者の中には、お花見の準備ができておられる方もおられる。お花見の準備ができておられる方もおられる。お花見の準備ができておられる方もおられる。



な味のてでた笑魚良方用車るのに「マス釣り」が小春日和の中、寿楽荘恒例行事である。五月十六日、利用者の中には、お花見の準備ができておられる方もおられる。お花見の準備ができておられる方もおられる。お花見の準備ができておられる方もおられる。



4月28日 『扇和会』慰問



5月1日 『三味線』慰問



5月26日 『コール山吹』慰問



リハビリ室より



利用者の皆様の中には、編物・縫物、書道や俳句・短歌など多彩な趣味をお持ちの方が多数いらっしゃいます。今回はその中の一部をご紹介します。館内にも年4回季節ごとに、利用者様の俳句や短歌を募集し、「リハビリ作品展」として掲示板に展示しています。飾りの切り紙も利用者様の手によるものです。以下作品は順不同で、お名前はイニシャル、実名などご本人の希望にそってご紹介させていただきます。

- 春が来て明るい朝が訪れて 金環日食美しきかな 大野みよ子
満月や五月(さつき)の夜空さわやかに 雲に混じりて清らかに照る 大野みよ子
ありがどうの言葉を字んだ寿楽荘 利用者の長寿を祈らんかな 中川一夫
自然の被害多き日本国 力合せて守りゆかん ヒデ子
流れないビルの谷間の花いかだ K
春の空ピンクが似合うツツジかな キヨ子

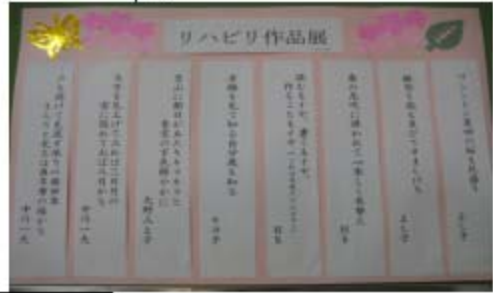


栄養課からの一言

「特養ホームにおける高齢者の食事について」～美味しく・安心な介護食作り～
『老化現象』この問題は、どうしても人間が避けられないことであります。加齢とともに身体的機能の変化が現れてくることは、皆さんも十分に理解されていると思われます。特に食生活の上では種々の支障をきたし、咀嚼・嚥下・消化と、この能力の低下は食事形態(料理その物の形・食べる状態)にも大きな影響を与え、様々な分野で研究・改善・工夫され努力している今日であります。
毎日の料理、食事サービスの中で利用者の皆様に飽きない食事を提供し、食事介助の安全を考え、食べやすい料理を作り続けることは、関係する職員(医師・看護師・介護士・栄養士・調理師・調理員)の協力・工夫・努力に頼ることになります。
特殊栄養食品等の(咀嚼嚥下困難食)利用や、摂食機能に合わせた食品の選定も、摂食障害のある高齢者に対しての配慮であり基本であります。
寿楽荘栄養課では昭和63年から取り組み実施し、現在も改善を重ねながら摂食機能状況、好きな食べ物、摂取量状況等を常に把握するように努力しています。



リハビリ作品展から





医務・診療所コーナー

医師 片倉和彦



5月16日、藤原四郎さんが多発性脳梗塞に伴う衰弱により永眠された。このところ調子は悪そうでも職員からの問いかけにはうなづいていた。藤原さんは寿楽荘に平成7年に入所。それから17年滞在された。その間に自叙伝を書いたり、家族のことを書いたり、と自費出版をされている。生前の本人の許可もあり、ここに紹介記事を記す。

特養の職員はややもすると利用者さんのことをただベッドにいる人と見てしまうことがある。しかし、たとえば奥多摩で長年教師をやっていた高橋先生が永眠された時などは、藤原さんは、居室がずいぶん離れていたにもかかわらず、高橋先生との会話の思い出をいろいろ語って下さった。

藤原さんは、昭和2年、京都府北部、福知山の近くの村で、医師藤原仁太郎の二男として生まれる。父君は58歳で亡くなるまでずっと地域の医療に取り組んでいた。昭和20年、大阪と神戸で偶然が重なって空襲から生還。しかし、昭和20年8月8日、新型爆弾が落とされた直後の広島で友人を捜し歩いたことが原因となり、その後、ずっと続く慢性疲労や、ずっと続く皮膚の化膿に悩まされ続け、それまで持っていた未来図を果たせなくなった。

原子爆弾の被害は8月6日に原爆にさらされた人だけである、と、戦後長いこと情報操作されていて、原爆後の入市(にゆうし)被爆などはありえない、とされていた。福島原発事故の後の内部被曝について専門家がオタオタしているのは、原爆の時の入市被爆が否定されていたことに関係がある。藤原さんの生きてきた道は、今僕らが直面していることにつながっている。

ご家族の方で、介護、看護職として寿楽荘で働いて頂ける方が居ましたら、ご連絡をお待ちしています。年齢、性別は不問です。

職員募集のお知らせ



『寿楽荘盆踊り大会』

寿楽荘盆踊り大会を8月5日(日)に予定しております。盆踊りは夕方からですが、日中は地元祭典の獅子舞など賑やかな一日になります。



『敬老感謝祭』

敬老感謝祭は9月8日(土)に予定しております。

※ご家族皆様方の来荘をお待ちしています。



利用者対応委員会からのお知らせです。

利用者対応委員会では、今年度も昨年度に続き認知症ケア専門士による『ご家族向けの認知症講座』を予定しています。詳細につきましては、後日お知らせいたしますが、皆様のご参加をお待ちしております。

編集後記

春から夏に、足早に過ぎ様と申し、この頃です。寿楽荘でも夏に向けて色々な催しを、企画しています。またご家族の方の御意見等が、ありましたら遠慮なく職員に伝えて下さい。また、情報源として広報誌の尚一層の充実に向け取り組んでいきます。



文

今後の行事予定

- 7月
  - ・盆供養(迎え火・送り火)
  - ・喫茶
  - ・買物バス
  - ・スイカ割り
- 8月
  - ・地域祭典
  - ・盆踊り
  - ・スイカ割り
  - ・喫茶
- 9月
  - ・敬老感謝祭
  - ・彼岸供養
  - ・喫茶
  - ・買物バス
  - ・活花
- 10月
  - ・スポーツ大会
  - ・買物バス
  - ・喫茶
  - ・マス釣り
  - ・保育園運動会見学

